

審議拒否の真実

的な崩壊を意味する。

自民党は衆議院でも参議院でも、一切、審議に応じない腹を決めているようだが、これについて小沢一郎幹事長は言う。自民党の審議拒否は、日本郵政株式会社凍結法案の採決で造反議員が出るのを恐れ、本音は郵政法案をやりたいくないからだろうと述べている。その通りだと思ふ。自民党の審議拒否は、審議に応じた場合、党内から郵政造反組がこの法案に賛成する公算が大だからだ。それは党の決定

麻生政権が駄目になったのは、小泉構造改革派が米国の後押しで党内を占拠したからである。政権交代に至った真の理由は、小沢幹事長の言うように、国論が小泉・竹中政治の見直しを求めたからだ。小泉・竹中構造改革の本丸である郵政民営化を見直して欲しいというのが世論であった。その意向を敏感に見抜いた小沢幹事長が、新政権に国民新党を加え、亀井静香氏を郵政担当大臣として起用した。

自民党が新政権の何に脅威を感じているかと言え、小沢一郎幹事長と亀井静香郵政担当大臣の二人である。悪徳ペンタゴンという利権複合体に属する自民党議員は、何としても郵政民営化の見直しを阻止したいのである。しかし自民党は上述したように、一枚岩ではなく、本音では「民営化見直し」に賛成する議員が多い。郵政民営化に反対の議員連中は造反を起こす可能性が高い。

自民党の分裂は小沢幹事長と亀井静香大臣にとつて、願ってもない状況となるかもしれない。自民党の郵政民営化見直し組が、与党に合流するか、国民新党に合流する可能性があるから。いずれにしても、自民党の影響力は縮小するだろう。しかし、民主党には雲会や松下政経塾上りの悪徳ペンタゴンに限りなく近い勢力がいて、獅子身中の虫になっている。彼らの動きの方が危険かもしれない。

自民党内の郵政民営化見直し組の筆頭が鳩山邦夫元総務

相であり、民営化推進グループの筆頭が中川秀直元幹事長である。おそらく党内はこの二派の対立が深刻になっているだろう。推進派の中川秀直氏は「党議拘束をかけ、堂々と国会に出席して反対すべきだ」と強硬論をぶち上げているらしい。まるで、郵政造反組の復党問題で、踏み絵を踏ませた当時を髣髴とさせる。郵政見直しをストップさせたい偽装(OEM)派の強い焦りが出ている。

現政権が、予定通り郵政グループの株式凍結法案を成立させたら、それは国富流出を

寸止めするという意味で、最大に評価されるべき政策であり、立派である。現政権は、日本郵政株式会社凍結法案の目的が、米国による対日国富収奪からの防衛であるとは、正面切つて言えない辛さがある。なぜなら、日米安保条約があるからだ。実質は属国でも、国際的には同盟国である米国を盗人(ぬすつと)呼ばわりできないからだ。

日本郵政株式会社凍結法案は国富流尺を防衛するためであると同時に、『対等な日米関係』を政策として実行していることを、国民に知らしめるだろう。

神州の泉

本州の中心、日本海側に白山比咩神社、太平洋側に伊勢神宮があります。日本の中心の南北に歴史ある神様の宮があるのです。

ダイヤモンドクロス・二等辺三角形の中心に天下を統一した織田信長、岐阜城があります。

も心が満たされています。滝やご神木の靈氣に癒されます。

ダイヤモンドクロス



特に休日は、県外の参拝者が多い、それも若い人です。それぞれの思いを内に秘めた表情が漂い、空気を作り出している。

線をつなぐと二等辺三角形が形成されます。そして、中心線の延長上の東に皇居があります。これらをつなぐと、大ダイヤモンドクロスが出現します。

私は良く山に行きます。白山比咩神社の近くに行けば必ず参拝する。午前中ですが、四季を問わず表参道の静寂さにはいつ

祈願などは私にありません。生かされている自然の一部、感謝だけです。

(有)西川経営オフィスサービス
中村会計
事務所便り
2009年12月7日(月) N084
地域から明るい未来を作ろう